

松江体協会報

第 7 号

53. 1. 15

題字は斎藤会長

普く 絶えず 正しく
—— 松江体協スローガン ——



選手団入場の先頭を切って国旗・市旗・体協旗の行進(体育の日)



選手宣誓する (大庭)三宅世志子選手(体育の日)

年頭にあたって

松江体育協会長 齋藤 強



明けましておめでとうございます。

協会役員、加盟団体会員各位には、ますますご健勝にて希望

に満ち溢れた昭和53年の新春をお迎えになりましたことと、まづもって心からお慶び申し上げます。

願れば昨年成人の日に恒例の体協人新年賀会を開催し、ご参会の270余名の皆様と共に総意を結集してスポーツ振興に努力することを誓いました。

就中、“市民総スポーツの底辺拡大”につきましては全市公民館地区毎の体育組織の確立を目指し、教育委員会とタイアップして、その育成に乗り出し、松江市地域体協連合会の発会をみるに至りました。

この他本会の事業助成のため市から317万円の補助金交付を受け新たに拳法協会の加入により38部門に亘り大同団結、活発な運動を展開してまいりました。

一方“島根国体”につきましては旧臘24日市議会の議決を経て、陸上、水泳、柔道、バスケット、硬式庭球、ライフル射撃の6種目の本市開催を県に要望し県ではそれぞれ手続きを得られ6月ごろには愈く国体開催が決定する見込みでございます。

また島根団体のテーマ・スローガンの公募も切られ今は審査発表を待つばかりであります。これらのことにより県民・市民の関心は今後急速に

高まっていくことでありましょう。

わが松江市当局の国体準備体制も新年度早々には新たな動きが見られるものと期待されますので本会といたしましても惜しめない協力をしていかなばなりません。

昨年体育の日を最後に50年に垂々とする輝かしい歴史を閉じた松江陸上競技場の代替には国体主会場に隣接するサブトラックが4月には新公認競技場として使用できるほか待望の野球場も遅くとも9月末には完工、弓道、アーチェリー施設も近々着工され、また主会場である陸上競技場も53年度に着工されることになりました。残るは県営プール（北高跡）、及び硬式テニスの国体施設づくりが待たれます。

屋内プールを併せて総合体育館の昨年の利用状況は一日平均600人を数え、多角的に活用されていることはたのもしい次第であります。同館今後の限りなき隆昌と躍進を指向するかのよう前庭に翌擡像が年末26日に建立されました。

今にも走り出そうとする若人のはつらつたるユニフォーム姿ですが、何かわが松江市スポーツ界の隆々発展を祈念しているかのようでもあります。

私は予てからスポーツ振興の意義は年と共に喫緊の度を加えつつあることを言葉で強うしてきました。今日諸般の情勢から察しますに、この機運を逃すことなく速かに松江市が市民総スポーツ都市であることの宣言されることを望んでやみません。

併て松江体協が本県スポーツ界のリーダーシッ

ブをになう使命を思うとき、これまでの協力一致の体制をますます堅持し、その機能を発揮していくなれば、市民のスポーツに対する熱意と関心は

一際高揚するものと確信してやみません。年頭にあたり所懐の一端を述べてご挨拶いたします。

市民総スポーツの推進をめざして

松江市教育委員会体育課長 荒木 卓
松江体育協会事務局長

新年明けましてお目出度うございます。

53年躍進の年をむかえ皆様方もスポーツ振興に対するあらたな意欲を燃やしておられることと思

います。市体育協会も52年には38種目団体の加入を得、又地域体育組織も充実してまいりましたことは、昭和46年に宣言決議された“全市民総体育”の目標に一歩一歩着実に前進していることを物語るものであります。これ偏に、皆様方のたゆまぬご努力と熱意のお陰と心から敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昭和57年開催予定の島根国体も後4年にせまっております。松江市におきましては、開会式をはじめ陸上、水泳、バスケットボール、柔道、庭球、ライフル射撃の6種目の会場を引受けることが昨年12月の市議会で議決、県に要望され、又上乃木町の総合運動公園内に新設される陸上競技場、野球場、テニスコート、補助競技場をはじめその他の附帯施設工事も着々と進んでいる状況にあり、私も53年の新春をむかえ、ひしひしと国体の息吹きを感じるとともに市民総スポーツをめざして励進する

覚悟であります。

昭和53年度の体育施策といたしましては、

1. 学校体育の振興と充実

児童・生徒の体力づくりの推進、指導者の育成と指導力の向上、部活動の育成強化、小・中学学校体育連盟の強化

2. 社会体育活動の振興

地域活動の高揚、市民体育祭の充実、スポーツ教室の拡充強化、団体グループ活動の育成強化、指導者の養成と指導力の向上

3. 体育施設の拡充整備

学校体育施設の整備、総合体育館の充実、総合運動公園の早期完成の推進

4. 国民体育大会の推進

市民総ぐるみの体制づくりの推進、市民スポーツ活動の定着、中学各種目選手の強化

を図りたいと考えておりますが、困難なことも多かろうと思われまので、この上とも暖かいご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

“さようなら 松江陸上競技場”

~~~~~グラウンド建設の背景と松江体協の活躍~~~~~

松江陸上競技場建設の背景には何としても松江体育協会の存在とその活躍振りを語らなくてはならない。話は大正2年にさかのぼり、10月31日大正天皇のご即位を寿ぎ松江市連合青年会により天神埋立地に開催された松江市連合青年大運動会が地方陸上競技大会の草分けである。以来年中行事となり参加範囲も山陰全域に広がり新人の登龍門として若人の血を湧かし会場は二の丸練兵場、末次埋立地と転じ大会名称も山陰オリンピック大会とかわり、幾多の国際的選手を輩出するに至った。そして世の進運につれ脚光を浴びて大正13年5月1日誕生したのが松江体育協会である。

翌14年日本陸上競技連盟の創立に際し当時未だ全国県単位の組織化ができていなかったため全国16地域に分けて加盟、松江体協は山陰統轄団体として認められたのだった。

競技場の近代化が進み公認競技場制度が生まれ松江体協は市当局に強く競技場の建設を建議し時の市長高橋節雄氏の深い理解と英断によって陸上競技場と野球場を併せつこうとの総合運動場計画の実現をみるに至ったのである。当時、体協の事務所は役員宅に置かれ、毎晩体協人が集って大会の準備を続けたものだったが、競技者登録人口を16地域別にみると、関東891名をトップに近畿、朝鮮と続き4位に山陰358名、以下山陽、台湾、東海、満洲、等と続いており、有名選手も輩出したので、松江体協の名は中央にも重きをなし島谷掌三氏は日本陸連代議員会に出席しても議長に指名されるほどだった。こうして出来た、松江競技場（当初の名称は昭和運動場）は当時中国地方で最も早くつくられた近代的



な施設であり、松江体育協会の名称に市が入っていないのは、松江市の行政区域のみを統轄する団体ではなく陸上競技と水泳競技では山陰両県を統轄して中央に加盟しているとの抱負から発したものである。

当時、軟式庭球、卓球、など各種目にも全山陰選手権大会を松江体協の手で行っていたもので、次ぎ次ぎに新種目を導入、バスケットボールも最初は、山陰オリンピック大会のフィールドで行なわれたものである。

中央との交渉が繁くなり民間人宅では時代に応じられなくなり昭和5年石倉市長に懇請して体協事務局は市役所体育所管の課におかれることになり現在に引きつがれている。

さようなら競技場座談会の記事は市広報10月号に登載、全戸に配布された。

津田晴一郎氏（オリンピック、マラソン入賞、在京都府）を囲み、右から佐藤助役、曾田、和田両副会長、津田氏、桂理事長

..... メモ帳から

昭和3年9月6日 高橋節雄市長により総合運動場建設計画成り、実測に着手、10月設計を終え、11月敷地20,385坪を買収。12月灘町、平山定太郎と工事契約を結ぶ総工事費55,949円

昭和4年7月1日 社会教育課誕生、課長福岡正治氏就任。8月20日市長改選、新市長に石倉俊寛氏就任。

9月20日 竣工式、昭和運動場と命名、規程は、一周400米トラック、220米直線走路、本部席スタンドは12段土盛り、収容人員1,500人地元町更正会が2,780円で築造、市は4年分賦払で買収。神式竣工式典、石倉市長テープカット、市内小中学生の競技マッスゲーム等を行なう。翌日松江体協主催第16回全山陰陸上競技選手権大会。中学校総合得点争は吉岡隆徳（島師 最終学年）の奮斗も及ばず僅か1点差で島商制覇。この年島師は全国中等学校大会に吉岡の大活躍でトラック優勝。

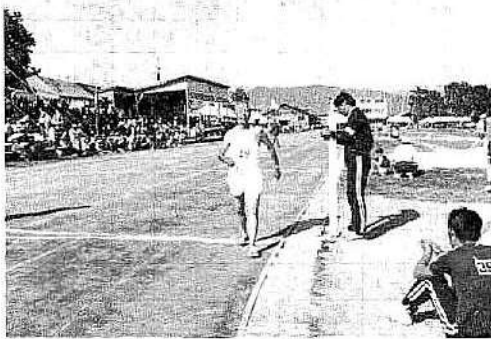


← 体育の日に行なわれた第12回市民体育祭は松江陸上競技場移転に伴う同競技場最後の市民体育祭として例年にない盛り上りをみた。

松江市は、これを記念して開会式にはグランド建設の功労者に対し表彰が行われ市長職務代理者、佐藤助役から故高橋節雄氏(元市長)故石倉俊寛氏(元市長)と、松江体育協会に対し、感謝状と記念品が贈呈された。

記念行事の一つとして、松江体協の招待した市議会議員、市部課長、公民館長職員、旧市町内会長、新市町内会長、体協OBの6チームにより500m継走が行われた。

写真は、走り終わった、議員チーム、部課長チームの記念連写



← 昭和4年の開場以来50年、その間この競技場から幾多の国際的選手をはじめ、多数の俊才を育んできたのであるが、松江体協ではこの競技場を舞台に活躍した役員、選手達に走り納めをしてもらおうと島根・鳥取両県に広く呼びかけた。

当日集る者42名、記念連写の後、なごやかな中にも名残を惜しんでのレースだったが、写真は学生マラソン優勝の山本正雄(島工)現姓万波氏

競技終了にひき続き、フィールドに英座敷で即席お別れパーティーを開き集まる者60名。

佐藤助役の挨拶、旧役員の長老後藤高直氏(80才)による乾盃音頭の後、参会の諸氏より数々の追憶が語りつがれ名残つきないものがあったが、嵩の山も漸く夕暗に姿を没する頃、一同万才を三唱して閉会。(写真)

日暮れて、パーティーは終わったが居残った10人余りは用意したファイヤーをたき、更に懐旧談に花を咲かせ夜のふけるのも忘れるかの様だった。



第12回松江市民体育祭 総合得点一覧表

地 区		津	乃	朝	城	大	松	秋	法	川	生	本	城	古	朝	竹	城	持	白	大	忌	
種 目		田	木	日	東	庭	南	鹿	吉	津	馬	庄	北	江	酌	矢	西	田	湯	野	部	
第1部	卓 球	26	23	20	20	23	30	15	17	20	17	16	20	15	17	16	17	16	16	15	15	
	ソフトボール	24	14	19	12	24	12	12	12	10	14	14	12	12	19	12	14	10	10	10	12	
	男子バレーボール	14	24	12	19	10	12	24	12	19	14	12	12	14	10	12	10	14	12	12	10	
	女子バレーボール	24	14	24	19	12	14	12	19	10	12	14	10	12	12	12	10	14	10	12	12	
	学童・少年野球	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	/	/
	学童・少女バレーボール	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	/	5	5	/	5	/	/	/
	第1部総得点	98	85	85	80	79	78	73	70	69	67	66	64	63	63	62	61	59	58	49	49	
	第1部順位	1	2	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	13	15	16	17	18	19	19	
第2部	3000M競走	1		1					5	4	1	4			2	2	3				1	
	(女)100M競走	1	4		1	5	4		5	4			5								1	
	(男)1200M継走	10	1	10	7	5	3	1	7	1	5	10	3		3	3	5	10	7	7	5	
	置換継走	5	5	10	3	10	1	1	7	7	3	5	1	3	1	5	10	7	7	10	3	
	(女)1200M継走	5	7	7	1	5	3	3	10	1	3	7	3	5		1	10	7	10	10	5	
	重量運搬継走	5	7	3	5	3	1	3	10	7	10	5	1	10	10	5	7	1	7	1	3	
	玉入れ競走	5	7	3	5	7	3	10	3	3	1	5	6	10	10	1	1	10	1	6	7	
	(男)100M競走	2	3	2	1	3	2		6	1	3		3							3	1	
	おしどり2人3脚リレー	10	1	7	1	10	5	1	10	5	7	5	7	5	1	3	7	3	3	10	3	
	(女)250才継走	5	10	7	3	10	10		7	7	1	3	1	5	1	5	10	3	3	7	5	
	むかで競走	10	7	3	1	10	3	5	10	10	7	7	3	7	5	1	3	1	5	5	1	
	(男)350才継走	10	7	1	3	10	1	5	10	7	10	5	1	5	7	3	7	3	3	1	5	
	キックボール継走	7	3	3	10	1	7	7	10	1	7	5	1	10		3	3	10	5	5	5	
	混成継走	10	5	10	3	10	7	3	10	失格	1	3	1	7	5	7	5	5	7	失格	1	
第2部総得点	86	67	67	44	89	50	39	110	58	59	64	36	67	45	39	71	60	61	64	44		
第2部順位	3	7	5	16	2	14	18	1	13	12	9	20	6	15	19	4	11	10	8	17		
1・2部総合得点	184	152	152	124	168	128	112	180	127	126	130	100	130	108	101	132	119	119	113	93		
1・2部総合順位	1	5	4	12	3	9	15	2	10	11	7	19	8	17	18	6	13	14	15	20		

第2部 混成継走	①大庭 2'06"7	②法吉 2'07"5	③津田 2'08"4
	④竹矢 2'09"4	⑤松南 2'09"6	⑥朝日 2'09"9
第2部 応援団賞	①津田	②白湯	③乃木
	④忌部	⑤城西	



① はつらつとして行進する川津



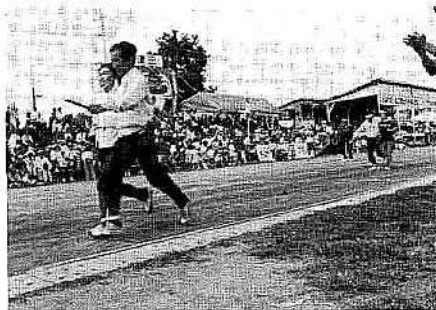
② にぎやかな行進は竹矢



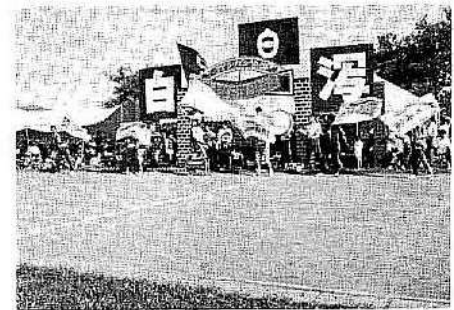
③ 若い者に負けじと老年体力づくりの会



④ 開会の挨拶は佐藤助役
(市長職務代理者)



⑤ 仲間つまじくおしどり継走



⑥ 応援たけなわ

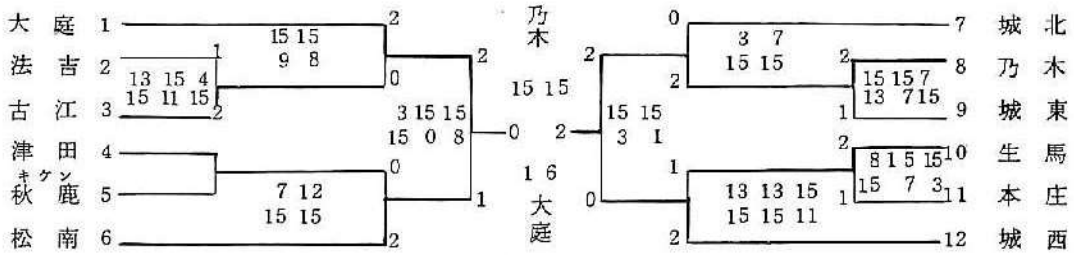


⑦ 乃木のデモ



⑧ 総合優勝の栄冠は津田の頭上に

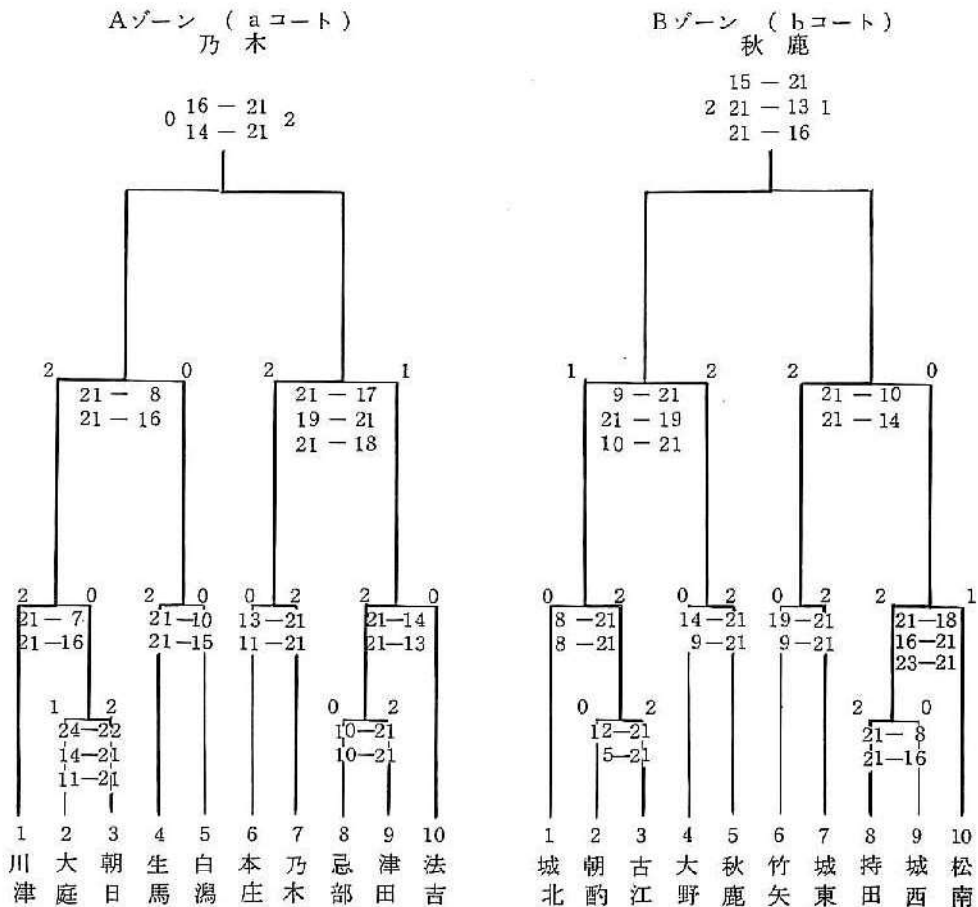
少女バレーボール



- 1位 乃木
- 2位 大庭
- 3位 松南・城西

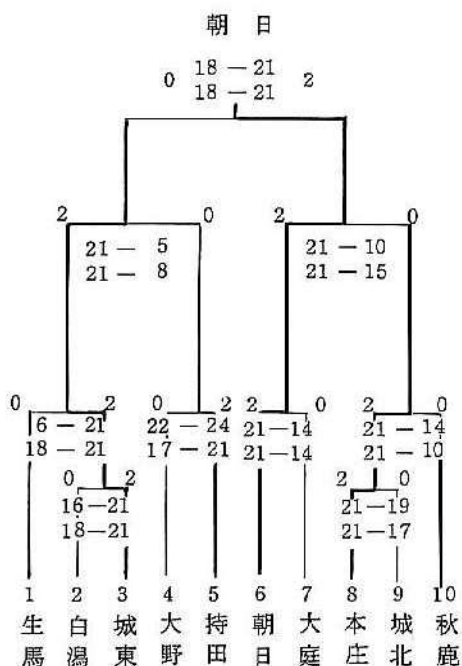
第12回松江市民体育祭第1部成績一覧表

男子バレーボール

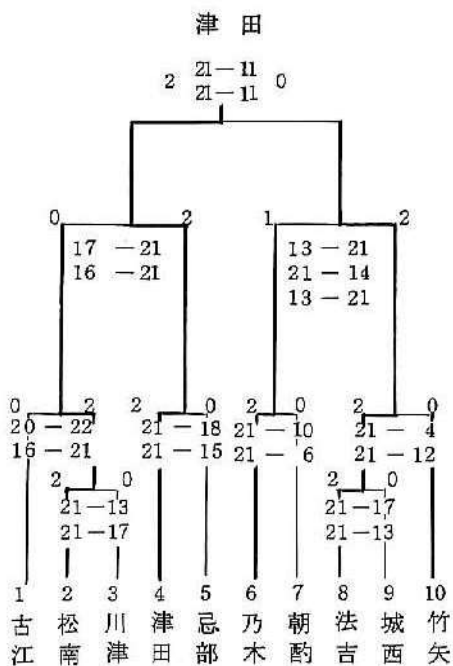


女子バレーボール

Aゾーン (cコート)

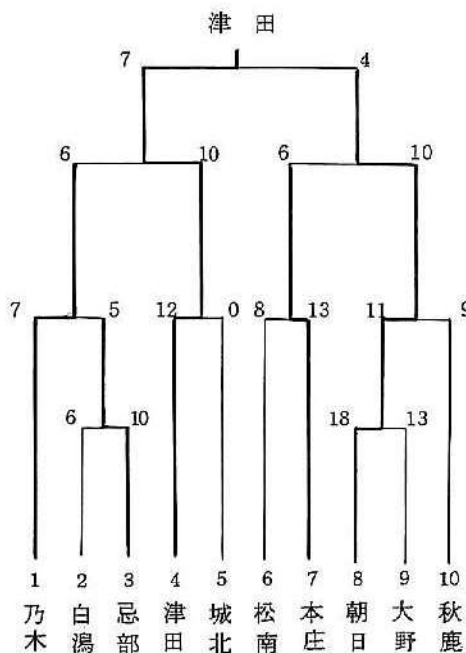


Bゾーン (dコート)



ソフトボール

Aゾーン



Bゾーン

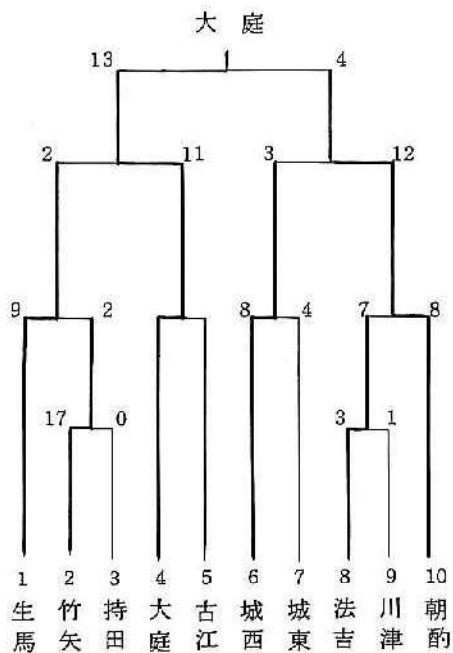


表 彰

昭和51年度の功績に対し岸記念賞授与

松江市陸上競技協会推薦（会長 金山 千）

松本 正 枕木町 S 16. 7. 6 生 自営農業

市陸協理事 競技部委員 県陸協代議員

51年度県選手権大会 1万米 1位 宍道湖一周駅伝松江市優勝の原動力となる。

西日本府県対抗駅伝の本県代表選手

松江市卓球連盟推薦（会長 鐘築 孝男）

三島 堅 新雑賀町 T 15. 8. 4 生 地方貯金局勤務 市卓連副理事長

51年度中国硬式選手権 壮年 3位 全山陰 同 2位 市選手権フィフティ杯優勝 県選手権 同優勝 指導員としても朝日公民館地区民乃木地区婦人等の指導に効果をあげている。

松江地区サッカー協会推薦（会長 遠藤 貞雄）

島根県立松江南高校サッカー部

全国高校選手権大会に西日本（島根・山口）代表となり遠野高校に惜敗

松江市バスケットボール協会推薦（会長 須田豊三郎）

岩崎 英人 栄町 S 8. 7. 6 生 市教委体育課勤務 市バスケット協理事長

斯道の底辺拡大に努め第1回全国ミニバスケット大会以来、連続市チームを育成参加させ、第8回大会を松江市に誘致し盛会裡に終了させた。また52年度松江市で開かれる全国高校バスケットの受入について普及委員長として活躍している。

松江市中学校体育連盟推薦（会長 舟木 貞美）

松江二中女子バスケットボール部

第10回県中学校総合 1位 第6回中国中学大会 1位（2年連続）

第5回全国中学生大会 準々決勝戦で敗退（2年連続出場）

会 務 報 告

事 務 局 だ よ り

- 1.15 松江レークガーデン大集会室で1時30分から本会主催による恒例の松江市スポーツ人新年賀会を開催、参加者は本会加盟団体、地区体協、公民館その他幅広いスポーツ愛好者 270名



で大広間を埋める盛況。正面舞台に掲げた「音く 絶えず 正しく」のスローガンを背にして先ず齋藤会長（市長）の年頭の挨拶に始まり、51年中に中央からスポーツ関係の表彰を受けた、本庄小学校（校長 津森豊年 文部省・日本体育研究連合会から保健体育優良校として表彰）熊谷琢朗（51才 松江体協理事、県陸協副理事長、安来高校教諭 日本陸上競技連盟から平沼記念章受彰）に対し桂理事長から功績を讃える紹介があり齋藤会長からお祝にペナント（陰山幸悦氏デザイン）を贈呈、来賓として井戸内正市議会議長の祝辞があった後、議事にうつり会員から提案された協議題について次の項目の説明があった。

- スポーツの底辺拡大とスポーツ人口の増大をはかり我々の手でスポーツ都市を実現しよう（発言者 常務理事 織奥信男）
- 公営体育施設・設備の完備と活用化（発言者 常務理事 森秋重）
- 総合体育館の運営について（発言者 常務理事 梶谷節夫）

松江市軟式庭球連盟

1. 51年度市民体育祭第3部として水泳と軟式庭球が加えられ共に頗る盛況だった。新年度も継続するよう今後の位置づけを要望する。
2. 軟式庭球人口が年々ふえるので楽山の硬式

と合せた6面ではコート数が不足で不自由している。新設計画のある総合運動場テニスコートを早く使えるようにしてほしい。

松江弓友会

城山弓道場撤去の代償として昨年松江陸上競技場選手控所の一部を使用しての仮設弓道場を使用させてもらっているが、今秋には競技場が撤去されることになるので、その後の弓道場について時間的空間がないよう配慮ねがいたい。

以上の提案説明に対し参加者から賛同の盛んな拍手があった。

これを受けて齋藤市長から、いづれも当面の問題として傾聴したので推進打開策を講じたいと挨拶、参加者側も、それぞれの立場でこれらの問題に積極的に取りかんでいくことを誓い議事を終る。つづいて祝宴にうつり、会員の演芸披露などもあり、参加者一同盃を交してスポーツ談義に花を咲かせたが夕暗の迫る頃、万才三唱裡にお互今年への健闘を誓い合いながら閉幕解散。なお来会者には当日発刊した本会々誌第6号と参加者名簿を配布した。

- 1.19 会報第6号を関係方面に配布
- 1.26 県体協新年賀会に桂理事長、荒木事務局長出席
- 2.5 52年度市民体育祭開催方針について市教委と協議
- 2.10 52年度市総合体育館使用日程調整委員会に各加盟団体理事長出席
- 2.12 市総合体育館建設事業費募金について加盟競技団体長（本会参与）宛にその後の協力方要請
- 2.21 軟式庭球スポーツ教室事業終了報告を県体協へ提出
- 2.22 体協関係年間行事参加人員集計に着手
- 2.25 スポーツ指導員名簿作製 日本体協公認47年発足以来合計16人となる。
- 3.1 朝日スポーツ相談室事業終了報告書を県体協へ提出
- 3.5～6 島根県スポーツ指導員連絡協議会発会式が挙行さる。全県会員134名 会長に和田指導員（本会副会長）就任

- 3.6 市民体育祭卓球之部開催され協力
- 3.8 51年度県体協委託事業終了報告書一括提出
- 3.9 スポーツ少年団スポーツ交歓会の運営をスポーツ指導員会で担当することで指導員会開催
- 3.14 52年度加盟団体届、岸記念賞候補、役員表、パッチ賞状調提出方を加盟団体に通知
- 3.23 全山陰陸上競技大会開催準備委員会を市教委、陸協、体協合同で開催
- 3.28 県体協評議員会が開かれ機構改革審議される。
- 4.3 スポーツ少年団スポーツ交歓会が開かれ、スポーツ指導員会で当日の運営を担当
- 4.12 52年度加盟団体共催行事に使用の共通図案による賞状とパッチ製作



- 4.13 松江市地域体育協会連合会結成の準備委員会を招集、17地区の出席を得て同日発足、20地区全域の加入をすすめた。
- 4.19 5月7日理事会開催の予告通知
- 4.28 理事会招集状発送
- 5.2 51年度本会々計監査を吉野安久、松尾司両監事により行う。

- 5.4~6 理事会提出議案づくり
- 5.7 52年度第1回理事会を午後2時から総合体育館研修室で開催、(開会に先立ち1時から常務理事会開催)出席者点呼、定数に達したので荒木事務局長開会を宣し、佐藤副会長(助役)の開会の挨拶について市教委人事異動により新任の石橋教育次長、陰山社会体育係長を紹介、事務局長から51年度会務報告の後、野津佳都美(相撲)を議長に選び議事に入る。

第1号議案 51年度収支決算について
事務局長説明、吉野監事の監査報告の後承認(別掲)

第2号議案 本会役員改選について
選考委員を選任して、会長以下役員を選出、任期は54年3月末までの2ヶ年(別掲)

第3号議案 新加盟団体承認について
松江市少林寺拳法協会、会長中村芳二郎、理事長中村俊雄(事務所内中原町253-6岸一郎方)の新加盟を承認、合計38部門となる。

- 第4号議案 52年度事業方針について
1. 加盟団体の育成をはかり、その事業費に対し補助金を交付する。
 - ・新種目の導入をはかる。
 - ・市民体育祭拡充の基本方針を市に建策する。
 - ・特別会員五割増を目標に加盟団体活動費の増額をはかる。
 2. スポーツ都市宣言の基盤づくりと、スポーツ人口の底辺拡大をはかる。
 - ・スポーツ教室の開設
 - ・スポーツ講習会の開催
 - ・各種指導者を養成し指導者の連合組織をつくり、その活用をはかる。
 3. 公民館区域毎の地域体協の結成促進とスポーツの大衆化をはかる。
 - ・スポーツクラブの育成、
 - ・学校開放による施設の活用をはかる。
 4. 職場スポーツの奨励とスポーツの生活化をはかる。
 - ・職場体育連絡協議会事業を助成する。
 5. 第37回島根国体の受入推進
 - ・52・1・1発足した島根国体松江市準備委員会の活動に協力する
 - ・施設整備の促進働きかけ
 - ・選手強化
 6. 市総合体育館建設事業並びに県体協事業に対する募金
 - ・すみやかに完納をはかる。
 7. 専門委員会による本会業務の分担

・常務理事、理事の業務分担を定め専門事項の推進をはかる。 以上承認

第5号議案 52年度収支予算について

別掲のとおり承認

第6号議案 51年度岸記念賞受賞者について

別掲のとおり決定

第7号議案 松江市総合体育館並びに島根県体育協会募金について

5月4日現在、募金目標の1,000万円に対し、8,239,955円入金、完納加盟団体16であり、引き続き努力することとした。

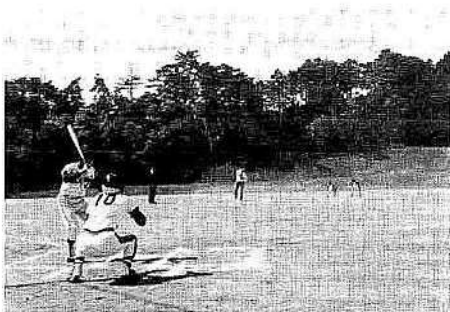
第8号議案 松江市並びに松江市教育委員会事業への協力について

荒木体育課長より施策の説明、協力方の要請があった。

以上で議事を終り、岡副会長（教育長）の閉会の挨拶をもって終了。

5.7 理事会終了後、楽山球場が竣工したのを視察

5.8 楽山球場使い初めに松江市B級大会の初試合を行い、和田副会長始球式を行う。



5.13~15 第61回全山陰陸上競技大会を開催、昭和4年、昭和運動場としてデビューした競技場での最後の全山陰大会となるので優勝メダルに記念文字を刻む。

5.20 岸記念章を推薦団体を通じて交付、特別会員募集依頼状も発送

5.23 県国体準備委員総会開かれ、荒木局長出席

5.24 水泳教室終了報告書を県体協へ提出

5.29 城東体育協会発会式が挙行され、和田副会長出席、祝辞を述べる。

6.8 スポーツ指導員会総会の件で県体協と協議

6.9 スポーツ指導員宛連絡文書、全県発送

6.11 スポーツクラブ育成案作製

6.13 スポーツクラブ7団体を選び日本体協の育成費助成内定

6.14 サッカー講習会県体協助成申請

6.16 地域体協連合会理事会開催
加盟団体に連合会からメダル交付

6.17 スポーツ指導員中国ブロック研修会（広島）に黒田、小笠原両名を推薦

6.18 地域体協理事会議事録作製

6.20 スポーツ教室、スポーツ相談室対象内定

6.21 地域体協議事録発送

6.22 総合運動場の野球場、ヘンス上の金網の高さ決定のため、野球部関係者と現地視察、決定線を出す。

6.23 元常務理事、山内佐助氏（ペンネーム以九士、元パシフィックリーグ記録部長）未亡人より和田副会長宛に、プロ野球大鑑が贈られてきた。内容は山内氏の集めておられたあらゆる記録を弟子の宇佐美氏がまとめて集大成したものである。

これは県立図書館に寄贈した。

6.25 特別会員用ネクタイ止製作注文

6.26 城東体協結成記念バレーボール大会助成

6.28 スポーツ教室指導者協議会開催要項きめる。

6.30 体育館募金督促状発送

7.1 総合運動場の野球場仮使用の件で助役折衝、7月30日使い初めときまる。

7.3 市民体育祭ソフトボール大会開催

津田と大庭が共に優勝

7.4 地域体協連合会加盟協会（部）に表彰用バッヂを連合会から贈る。

7.5 スポーツクラブ育成事業7団体に対し、スポーツ指導員の担当割振通知。

7.7 体協新役員（任期2年）委嘱状発送

7.13 松江家庭婦人卓球協会発会式並びに披露パーティーが一文字屋ホテルで開かれ、和田副会長出席、会員50名参集

7.13 アーチェリー島根国体導入に関し、協会より協力申請あり。本会としても協力を約束。

7.14 野球場施設仮使用管理について市教委より協議を受け、軟式野球連盟と市が契約を結び今年度は管理するとの方針決定。

7.15 陸上講習の講師招聴の経費援助方を県体協に申請

7.17 市民体育祭バレーボール大会開催

7.19 スポーツ教室、スポーツ相談室実施責任者に要項指示。

- 7.19 スポーツクラブ育成事業報告を具体協と日体協へ報告
- 7.23 本球場仮使用の使い初は記者クラブ対市役所部課長チームの対戦ときまり、体協で世話することとなる。
- 7.25 国体準備局と会場地元との打合せ開かる。
- 7.26 県中学野球市代表、松江四中チーム激励会、荒木局長激励の挨拶、全軟大会県代表となった、原田クラブから指導員を派遣指導を行う。
- 7.28 乃木家庭婦人バレーボールチーム全国大会出場の激励に和田、荒木、吉野バレー会長乃木小体育館の練習場へ赴く。
- 7.30～31 市民体育祭学童少年野球大会開催
- 7.30 本球場開き、記者ク対部課長
- 8.7 県ポウリング選手権大会に桂理事長出席祝辞を述ぶ。
- 8.10 市民体育祭学童少年野球大会開催
- 8.14 市民体育祭水泳大会開催
- 8.17 県陸協OBと現役の懇談会に、和田、桂、出席、国体会場、松江競技場移転、競技場さようなら行事など協議
- 8.21～22 県学童野球大会（東部）が安来市で開かれ松江から2チーム出場 計16チームで法吉初優勝 城西3位



- 8.26～30 原田クラブ県代表として長野県で行われた天皇杯全国軟式野球大会に出場
三重東芝に15回延長の末1対0で惜敗、和田副会長同行、大会後、長野市のスポーツ都市宣言の調査を行う。
- 9.1 山陰中央新報社の依頼で和田副会長、さようなら競技場の記事投稿
- 9.2 さようなら競技場行事の原案作製
- 9.3 さようなら行事打合せ会開催
- 9.7 さようなら行事表彰の件、市と打合せ
- 9.9 本競技場設計説明会開かる。
- 9.13 さようなら競技場の記念品として有償ユ

- ニフォーム175着の注文あり。
- 9.15 市民体育祭軟式庭球大会開催 津田優勝
- 9.17 さようなら競技場を記念し、座談会の記事を市広報10月号にのせることとなり市役所で開催、市側から佐藤助役、本市出身オリンピックマラソン入賞の津田晴一郎氏（在京都市）、本会から和田、曾田、桂の3名が列席。
- 9.21 本会理事会を総合体育館で開催
佐藤副会長以下27名出席
 - 1. 協会役員人事について
齋藤会長の市長退任は9月末頃と伝えられており、スポーツ関係の役職も辞される由、間接に話がある。ついで10月23日行われる市長選の結果、体協としても新市長とお会いする機会が近々あるので、それらの状況を判断し遅くとも年末までに会長問題を解決することで、このことを副会長、理事長に一任と決定。当分の間齋藤会長に留任ねがうこととした。
 - 2. 市民体育祭（第2部）兼松江陸上競技場さようなら行事参加について
積極的に協力し入場行進に参加する。
イ、公開演技参加について
剣道、ハンドボール、少林寺拳法の3種目が希望。
ロ、総合体育館公開利用（10月10日）
開会式終了後利用するよう呼びかける。
 - 3. その他
イ、特別会員募集
目標達成に努力する。
ロ、体育館募金
目標達成に努力する。
 - 4. 佐藤副会長（助役）から市体育施設設備の整備促進状況の説明があり各団体よりの質問に回答の後、閉会。
- 9.22 さようなら行事案内状発送
- 9.22 理事会議事録発送
- 9.24 10月10日招待リレー招待状発送
- 9.27 スポーツ指導員協議会常任理事会を開く。
- 9.29 市民体育祭打合せ開かれ参画
- 9.29 和田副会長、山陰中央新報社より地域開発賞教育賞の受賞がきまり、その副賞10万円を含め表彰楯37個の寄贈申出があったので加盟団体に1個ずつ贈呈することとし彫刻大会名を照会
- 9.30 市広報10月号に登載する競技場さようなら座談会（9.17）の記事まとめ、広聴課に協

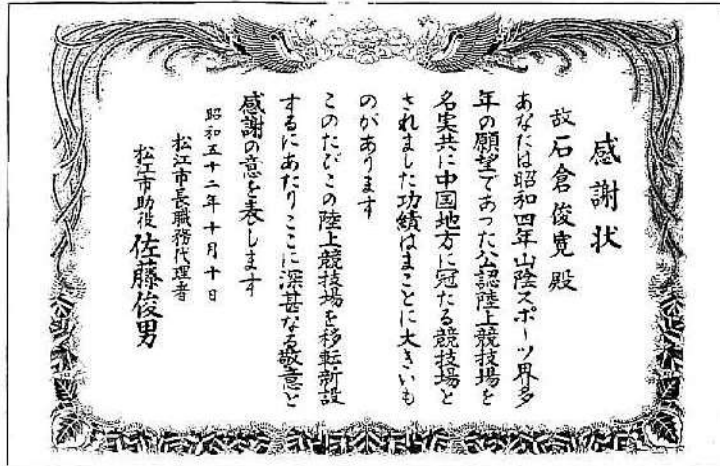


力する。

- 10.1 市民体育祭当日会場で配布する競技場さ
ようならの、チラシ原稿作製
- 10.6 競技場さようなら行事を機会に、かねて
から関係方面を探していたがかって全山陰オリ
ンピック大会中等学校総合得点争の優勝権が見
つかったので、保存方法を講ずることとした。
- 10.10 第12回市民体育祭(第2部)開催、今回は、
“さようなら陸上競技場”行事と併せ行われ
市民と共に名残りを惜しんだが、この開会式
でグランド建設功労者として、故高橋節雄氏
(市長)、故石倉俊寛氏(市長)と松江体協に
対し松江市から感謝状が授与された。
- 10.12 競技場撤去備品類処分の下見が行われ立
会う。
- 10.14 スポーツ指導員に県大会の案内状発送
- 10.16 山陰放送に競技場さようならのラジオ放
送を和田副会長録音、10月31日放送
- 10.18 NHKによる競技場さようならのテレビ
録画とりに曾田、和田副会長、金山陸協会長そ
の他出演、10月20日放映
- 10.19 全山陰オリンピック中等学校総合優勝権
と総合優勝旗3本をともに松江郷土館に寄託。
スポーツコーナーを飾り保存することとなった。
- 10.20 スポーツ指導員講習会受講方、加盟団体
宛勸奨
- 10.21 秩父宮妃殿下ご来松を機に日本陸連から
秩父宮章を受与されている10氏の内、7名がお
目に掛り斯道の振興についてご歓談申しあげた。
- 10.25 和田副会長に対し山陰中央新報社の地域
開発賞教育賞、授与式が挙行された。

- 10.26 和田副会長寄贈の楯を37団体に交付
- 10.27 県国体準備委員会開催さる。
- 10.30 県スポーツ指導員連絡協議会大会開催さ
る。地元協会として協力・中央講師として日本
体協事業部長、深川長郎氏講演
- 11.10 加盟団体宛、年末処理事項文書連絡
- 11.11 スポーツクラブ指導員連絡協議会開催通
知
- 11.13 ヤクルトスワローズ球団、淡河コーチ、
長尾内野手来松、市内中学校野球部員150名に
コーチしてもらう。
- 11.13 第1回全山陰ボーリング選手権大会に桂
理事長祝辞を述べる。
- 11.14 サッカー講習会終了報告を県体協へ提出
- 11.18 県体協と市町村体協懇談会開催され、和
田副会長、県民体育大会と国体選手の強化とに
対する市町村の役割について県の見解をただし
た。
- 11.18 スポーツクラブ育成指導者会を開催
- 11.19 斎藤会長、佐藤副会長、共に病氣中を和
田副会長、桂理事長が見舞う。
- 11.21 市民体育祭、体育課の協議に加わる。
- 11.30 斎藤会長宅を和田副会長訪問して当面の
問題について報告。
- 12.2 市総合体育館専門委員会が開催され協会
側からも和田副会長以下参会
市民のための効率的な利用方法について、要望
書を作製提出
- 12.2 スポーツ指導員と体育指導委員合同研修
会を本会の手で開催、橋本県体協専務理事から
島根国体をふまえて指導者のあり方について講
話を聴き、つづいてボウリングの知識について
協会役員の指導を受けた後全員ゲームをたのし
む。
- 12.6 中村新市長を囲み本会役員、顧問、参与
合同懇談会をむらくも会館で開催
- 12.11 猶興館創立記念第3回剣道大会を和田副
会長激励。
- 12.13 NHK“朝の訪問”に和田副会長録音
17日ラジオ放送
- 12.18 梶谷水連理事長の日本水連からの功労章
受賞祝賀会が開かれ協会を代表して桂理事長参
列。
- 12.20 会報第7号編輯
- 12.21 さようなら競技場記念写真配布
注文243枚。

松江陸上競技場建設功労者に感謝状！

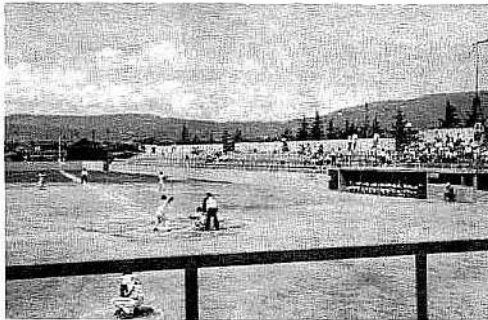


加盟団体行事

⊕…主催 ⊖…共催 ⊗…主管 ⊙…参加

松江市軟式野球連盟 (会長 福島益太郎)

- 4・3～4・17 島大・八雲
中国都市対抗軟式野球松江予選大会(A級)
成人 120名
- 4・19 二中
中国都市対抗軟式野球ブロック大会(A級)
成人 60名
- 4・3～5・29 二中・八雲・楽山
全日本軟式野球一部・二部松江予選大会(B・C級)
成人 900名
- 5・15～5・29 楽山
島根県軟式野球選手権大会松江予選(A級)
成人 120名



(原田クラブ 天皇杯大会参加)長野県

- 6・19～7・3 楽山
国民体育大会軟式野球大会松江予選(A級)
成人 120名
- 7・23 楽山
国民体育大会軟式野球ブロック大会(A級)
成人 60名
- 6・5～8・21 楽山
中国五県軟式野球一部・二部松江予選大会(B・C級)
成人 900名
- 8・28～10・30 楽山
松江市長杯・会長杯争奪野球大会(A・B・C級)
成人 1,100名

松江市ソフトボール協会 (会長 岩田篤明)

- 7・3 二中・附中・母衣小・城北小・グラウンド

- ⊕ 第12回松江市民体育祭第1部公民館対抗ソフトボール大会
公民館代表 20チーム 選手300人
- 10・29～30 商業高校グラウンド
⊖ 第7回松江江市ソフトボール選手権大会
12チーム 選手180人
- 11・6 商業高校グラウンド
⊖ 第6回一般女子高校女子ソフトボール選手権大会
3チーム 選手45人

松江ローンテニスクラブ (会長 島田和明)

- 4・24 楽山庭球コート
⊕ 春季市民庭球大会 48名
- 5・29 楽山庭球コート
⊕ 国民体育大会県予選 73名
- 8・14 楽山庭球コート
⊕ 夏季市民庭球人会 34名
- 9・25 楽山庭球コート
⊕ 島根県社会人庭球選手権大会 30名
- 10・10 楽山庭球コート、島根大学庭球コート
⊕ 島根県庭球選手権大会 100名
- 10・15～12・3 楽山庭球コート、北高庭球コート
⊕ テニス教室 50名
- 1・上 総合体育館
⊕ 島根県室内庭球選手権大会 70名

松江地区銃剣道連盟 (会長 和田邦市)

- 52・4・12 浜田市
⊕ 浜田護国神社奉納試合
12名参加 団体戦1位 2位
- 8・25 ホテル湖城
⊕ 松江地区総会 27名
- 9・4 県立武道館
⊕ 島根県武道大会 20名
- 9・19 忌部公民館
⊕ 慰霊祭銃剣道大会 11名
- 10・23 松江市
⊕ 松江護国神社銃剣道大会 25名
- 外瀬南高校 14名
- 12・5 青山旅館
⊕ 松江地区役員会 9名
- 12・12 東本会館

⊕ 松江特別委員会 12名

松江市体操連盟 (会長 柳原弘義)

- 4・24～2・12 市体育館
- ⊕ 体操教室(年間22回、各150回)
- 8・24～26 市体育館
- ⊕ 親子体操教室 各100名
- 11・23 市体育館
- ⊕ 松江市民体操デー
- (第5回小学生体操競技大会)
- (第2回中学生体操競技大会) 計120名
- 1・21 市体育館
- ⊕ 審判講習会(2・3種公認審判員資格取得) 予定

松江陸上競技協会 (会長 金山 千)



- 4・17 宍道湖岸
- ⊕ 第32回宍道湖一周駅伝 32チーム 224名
- 4・29 松江陸上競技場
- ⊕ 第4回松江陸上選手権 一般・小・中・高 880名
- 5・13～15 松江陸上競技場
- ⊕ 第61回全山陰陸上競技大会 一般・小・中・高1,450名
- 6・19 湖北ロードレースコース
- ⊕ 第13回体力づくり走ろう大会 小学生・老壮年 80名
- 8・21 松江陸上競技場
- ⊕ 第9回松江高校対抗陸上 高校生 200名
- 10・10 松江陸上競技場
- ⊕ さようなら陸上競技場第12回松江市民体育祭第二部 小・中・高・一般 3,000名
- 10・16 湖北ロードレースコース
- ⊕ 第14回体力づくり走ろう大会

- 老・壮・青年 100名
- 11・3 市役所～湖北～市役所
- ⊕ 第23回松江市駅伝競走大会 一般・高校 190名
- 11・27 市役所～岡本町折返し
- ⊕ 第6回松江職域駅伝競走大会 一般 240名
- 53・1・1 城山外濠コース
- ⊕ 第6回元旦走ろう大会 少年・青年・老壮年・婦人 120名
- 53・3・21 湖北ロードレースコース
- ⊕ 第11回松江ロードレース 小・中・高・一般・老壮年 180名
- 52・5～53・3 松江陸上競技場他
- ⊕ 小学生陸上競技教室延25回 600回

松江乗馬連盟 (会長 野津嘉重)

- 52・5・3 於 平市市島根医大練習馬場
- 第8回島根県馬術大会と共催
- 参加人員 延29名 参加馬 12頭
- 52・7・31 於 平市市島根医大練習馬場
- 第9回島根県馬術大会と共催
- 参加人員 延26名 参加馬 延26名
- 松江市内中学生選抜5名部班運動供覧
- 52・8・3～8・9 於 島大馬場
- 中学生乗馬教室
- 参加人員 10名(男8名、女2名)
- 早朝訓練(6時～9時まで)
- ◎松江市に練習馬場がないため平市市で大会を行った早急に馬場の開設をお願いします。

松江アーチェリー協会 (会長 金山 千)

- 4・17 県大会兼中四国大会予選 37名
- 5・22 記録会 33名
- 5・29 市春季大会 38名
- 中四国大会(香川県) 15名
- 7・16 上級者技術講習会 22名
- 8・7 県秋季大会 32名
- 8・28 中四国大会予選 36名
- 9・17・18 身障者指導員講習会 30名
- 11・6 市秋季大会 35名
- 11・20 全山陰インドア選手権大会 44名

松江地区サッカー協会

- (会長 遠藤貞雄)
- 4・9・10・16・17 松江地区高校春季大会
- ⊕ 150名
- 4・10～7・3 松江社会人サッカーリーグ(前期)
- ⊕ 210名

- 5・7・8 松江地区中学校春季大会
 ⑤ ⑥ 150名
- 6・10~12 島根県高校総体(サッカーの部)
 ⑥ 300名
- 6・14.15 市総体(中二)於一中
 ⑥ ⑤
- 6・14~18 国体予選松江選抜(高校)強化練習
 ⑤ 30名
- 6・25~27 全日本大学サッカー中国予選
 ⑥ ⑤
- 6月下旬 サッカー技術、審判研修会
 ⑤ 50名
- 7・22.23
 ⑥ 160名
- 11月下旬 出雲地区、松江地区
 社会人サッカートーナメント
 ⑤ 350名
- 8月下旬 松江サッカー総合体育大会
 ⑤ ⑥ 200名
- 9・3.4 第6回松江市小学校サッカー交歓会
 ⑤ 100名
- 9・4~11・20 松江社会人サッカーリング(後期)
 ⑤ 210名
- 9・19.20 松江小学校サッカー大会(小体連)
 ⑥ 250名
- 9・23~25・10・1.2 松江地区高校秋季大会
 (兼 全国高校選手権大会県予選)
 ⑤ 150名
- 10・10 松江市民体育祭
 ⑥ 50名
- 10月中旬 サッカー技術、審判研修会
 ⑤ 50名
- 10・25.26 松江市中学校新人サッカー大会
 ⑥ 120名
- 11・5~7 全国高校選手権大会県予選
 ⑥ 160名
- 11月下旬 松江ユースサッカー大会
 ⑤ 120名
- 11・12.13 松江地区中学校秋季大会
 ⑤ 160名
- 11・20 松江・八束小学校サッカー交歓会
 ⑤ 120名
- 5・24~6・24 社会人ミニサッカーリング
 ⑤ 100名
- 1月下旬 リーダー研修会(中学、高校)
 ⑤ ⑥ 50名
- 2月中旬 社会人冬季トレーニング
 ⑤ 100名
- 7・31~8・21 松江社会人サッカートーナメント
 ⑤ 210名

- 4~3 シマネ少年サッカースクール12回生
 ⑤ ⑥ 180名

松江水泳連盟 (会長 吉岡正吉)

- 7・17 出雲市営プール
 ⑥ 第7回出雲地区年令別選手権水泳競技会
 (参加人員) 147名 8チーム
- 8・14 朝日小プール
 ⑥ 第15回松江市民水泳競技大会
 (参加人員) 274名 18チーム
- 9・4 津田小プール
 ⑥ 第10回小中学校新人選手権水泳競技大会
 (参加人員) 122名 9チーム
- 8・9 総合体育館屋内プール
 ⑤ 木原美知子婦人教室
 (参加人員) 88名

松江市ハンドボール協会

(会長 森江文吉)

- 1・30 市立体育館
 ⑤ 第4回室内選手権大会 14チーム 182名
- 4・24 松江工業
 ⑤ 審判講習会 30名
- 6・5 松江工業
 ⑤ 春季大会 16チーム 208名
- 7・23.24 松江工業
 ⑥ 県民大会、国体県予選 18チーム 234名
- 8・20.21 松江工業、市立体育館
 ⑤ 国体中国地区予選 13チーム 168名
- 10・30 松江南
 ⑤ 第5回秋季大会 10チーム 130名



松江弓友会 (会長 松田俊雄)

- 1・9 県立武道館弓道場(県弓道場)
 ⑥ 昭和52年度初射会 30名
- 1・15 県弓道場
 ⑥ 寒稽古初め 20名

- 1・30 県弓道場
 ㊦ 寒稽古納め 30名
 (期間15~30延 300名)
- 2・13 県弓道場
 ㊦ 2月々例射会(建国記念射会)
- 3・13 県弓道場
 ㊦ 3月々例射会 32名
- 4・3 県弓道場
 ㊦ 4月々例射会 29名
- 4・10 大田市川合弓道場
 山陰弓道大会 派遣選手 15名
- 4・24 県弓道場
 ㊦ 松江市弓道大会 260名
 (鳥取島根一般高校)
- 5・8 出雲高校弓道場
 出雲市弓道場大会 派遣選手 20名
- 5・15 県弓道場
 ㊦ 5月々例射会 34名
- 5・28 白潟天満宮特設射場
 ㊦ 白潟天満宮奉納射会 50名
- 5・29 大田高校弓道場
 ㊦ 県弓道選手権大会、支部対抗弓道大会
 派遣選手 21名
- 6・12 県弓道場
 ㊦ 6月々例射会 34名
- 6・19 島大弓道場
 島大弓道大会 20名
- 6・16 大田高校弓道場
 ㊦ 県民体育大会(弓道) 派遣 20名
- 7・17 県弓道場
 ㊦ 7月々例射会 暑中稽古初め 35名
- 7・31 県弓道場
 ㊦ 暑中稽古納め 37名
 (期間17~31延 350名)
- 7・23. 24 県弓道場
 ㊦ 松江市弓道講習会 延 80名
- 8・21 県弓道場
 ㊦ 8月々例射会 28名
- 9・5 県弓道場
 ㊦ 県武道振興大会 高校大学一般 300名
- 9・11 県弓道場
 ㊦ 鳥取島根弓道大会 60名
- 10・2~6 八戸市
 国民体育大会 監督1選手 2名
- 10・9 倉敷市弓道場
 中国弓道選手権大会 派遣 15名
- 10・10 県弓道場
 ㊦ 市民体育祭弓道大会(10月々例射会) 40名
- 10・29. 30 県弓道場

- ㊦ 審判講習会 延 80名
- 11・3 県弓道場
 ㊦ 松江市武道大会(弓道)高校大学一般 200名

- 11・20 県弓道場
 ㊦ 11月々例射会
- 12・11 県弓道場
 ㊦ 52年納会12月々例射会 40名

松江地区柔道連盟 (会長 佐野 広)



- 2・20 県立武道館
 ㊦ 松江地区昇級昇段試験 20名
- 3・20 県立武道館
 ㊦ 地区昇級審議会
- 5・15 県立武道館
 ㊦ 松江地区昇級昇段試験
- 6・19 県立武道館
 ㊦ 鳥取、島根両県柔道大会
- 6・26 県立武道館
 ㊦ 松江地区柔道選手権大会
 小学生より一般まで 345名
- 7・10 県立武道館
 ㊦ 第7回県少年武道大会(柔道の部)
 団体20チーム、個人98名、松江地区より団体6チーム、個人32名参加
- 7・26~30 県立武道館
 ㊦ 暑中稽古 小学生より一般まで
- 7・31 県立武道館
 ㊦ 国体予選兼県民体育大会(一般成年、教員の部) 選手 35名
- 8・28 県立武道館
 ㊦ 松江地区昇級昇段試験 40名
- 10・9 県立武道館
 ㊦ 松江地区柔道指導者講習会
 講師 山藤哲夫 随岐高校教諭
- 10・23 県立武道館
 ㊦ 松江地区昇級昇段試験

- 11・6 県立武道館
 (管) 松江市武道大会(柔道の部)
 小、中、高、大 一般合せて 234名
 4,300名参加
 毎週土曜日 県立武道館
 (主) 分同練習会

松江市バスケットボール協会

(会長 須田豊三部)

- 5・5
 (主) ミニバスケットボール教室入校式 小学生 70名
- 5・7・8
 (主) 第2回松江・八東中学生大会 120名
 (男子) 優勝 湖南中 準優勝 第1中
 (女子) 優勝 湖南中 準優勝 第1中
- 5・20～6・24
 (主) 第2回松江市職域バスケットボール春季リーグ戦 145名
 優勝 松江市役所 準優勝 トヨタカラー
- 9・15
 (主) 第3回松江市民フリー・スロー大会 第2回松江市民バスケットボール1対1選手権大会 130名
- フリースローの部
 優勝者 小学校男子 奥原 純(秋鹿)
 // 女子 田村美穂(城北)
 中学校男子 太田 篤(第一中)
 // 女子 石倉篤子(湖南中)
 高等学校女子 片寄 薫(松江商業)
 一般男子 秋田正貴(荒谷建設コンサル
 タント)
- 1対1選手権の部
 優勝者 男子学生 太田 篤(第一中)
 // 一般 柳原 治(松江共和物産)
 女子中学校 三島加代子(湖南中)
 // 高等学校 青山美枝(松江商業)

- 10・22～23
 (主) 松江市小学校大会 500名
 (男子) Aゾーン①城北 ②内中原
 Bゾーン①本庄 ②古志原
 (女子) Aゾーン①城北 ②川津
 Bゾーン①乃木 ②母衣

- 10・12～10・28
 (主) 第2回松江市職域バスケットボール秋季リーグ戦 100名
 優勝 トヨタカラー
 準優勝 松江市役所

- 10・25～26
 (主) 第14回松江市中学校新人バスケットボール

大会

- 11・17～18
 (主) 第22回出雲地区中学校新人バスケットボール大会
- 12・25
 (主) 松江市中学校一年生バスケットボール大会 200名
- 2・4～5
 (主) 松江市一般男子バスケットボール選手権大会

松江バレーボール協会 (会長 吉野晴雄)

- 3・13 松江総合体育館
 (主) 松江市職域対抗9人制バレーボール大会
 男子8チーム 女子4チーム参加
- 3・27 松江工業高校
 (主) 松江市家庭婦人バレーボール大会
 女子11チーム参加
- 3・20 松江総合体育館
 (主) 第4回松江市中学生6人制バレーボール優勝大会
 男子11チーム 女子16チーム参加
- 7・17 松江総合体育館
 (主) 市民体育祭第1部バレーボール大会
 男子20チーム 女子20チーム参加
- 8・10 松江総合体育館
 (主) 少女・学童バレーボール大会
 少女11チーム 学童12チーム参加
 「予定」2月下旬
- (主) 松江市職域対抗9人制バレーボール大会
 3月初
 (主) 松江市家庭婦人バレーボール大会
 3月中旬
 (主) 第5回松江市中学生6人制バレーボール優勝大会

松江市軟式庭球連盟 (会長 鈴木繁徳)

- 4・17 市営楽山テニスコート
 (主) 松江市民春季軟式庭球大会 170名
- 5・1 市営楽山テニスコート
 (主) 松江市団体対抗軟式庭球大会 102名
- 6・5 市営楽山テニスコート
 (主) 松江市中学生軟式庭球大会 250名
- 7・2～7・30 市営楽山テニスコート
 (主) 松江市軟式庭球教室(前期) 50名
- 8・21 市営楽山テニスコート
 (主) 松江市婦人軟式庭球大会 64名
- 8・28 市営楽山テニスコート
 (主) 松江市岸杯軟式庭球大会 178名
- 9・15 市営楽山テニスコート

- ㊥ 松江市民団体対抗軟式庭球大会
(公民館対抗13チーム) 130名
- 9・23 市営楽山テニスコート
- ㊦ 全山陰壮年軟式庭球大会 88名
- 10・16 市営楽山テニスコート
- ㊧ 松江市民秋季軟式庭球大会 174名



松江市教職員体育連盟 (会長 福田清美)

- 8・9・10 仁多郡
- ㊨ 第30回島根県教職員体育大会
 - 選手総計 134名
 - 総合成績 1位松江
 - 種目別成績(団体戦)
 - サッカー、1位A松江、B飯石
 - バスケット、1位A松江 B隠岐
 - 柔道 2位松江 剣道 1位松江
 - 卓球 1位松江
 - バレーボール 3位男松江 5位女松江
 - 庭球 1位松江 陸上 3位松江
- ㊩ 松江市教職員レクリエーション大会
高・中・小・幼の各ブロックで実施
- ㊪ 全国教員バスケットボール大会
2名選手派遣
- ㊫ 全国教員バレーボール大会 1名選手派遣

松江市オリエンテーリング協会

- (会長 玉木常吉)
- 5・7～8 県民会館、古江地区
- ㊬ 島根県オリエンテーリング指導者講習会 25名
- 7・15 古江地区
- ㊭ 第3回 市民のつどい
オリエンテーリング大会 756名
- 11・6 古江地区

- ㊮ 松江スコア、オリエンテーリング大会
11・27 古江地区 106名
- ㊯ 第3回 島根県オリエンテーリング選手権大会 30名
他に各地区大会の指導にあたる。

松江サイクリング協会 (会長 浅野俊雄)

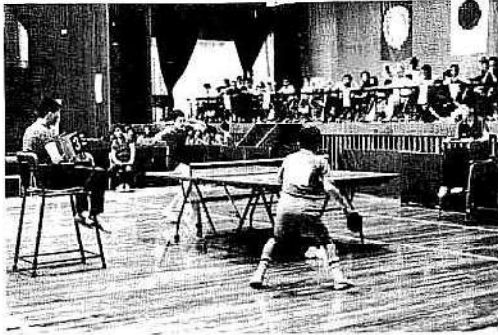
- 1・2 熊野大社
- ㊰ 松江市民初詣でサイクリング 53名
- 4・8～9・23 26回 延 3,250名
- ㊱ 松江市民おはようサイクリング
- 5・22 クラブラン 15名
- 6・19 札所めぐり
- ㊲ 春の市民サイクリング大会 88名
- 6・7～8 第21回全国ラリー島根県大会(松江
市)全国 1,200名
- 9・23 木次町星崎電気グラウンド
- ㊳ おはようサイクリング県民大会
松江参加者 60名
- 11・20 集印サイクリング 足立美術館
- ㊴ 秋の市民サイクリング大会 72名
- 12・11 むらくも会館
- ㊵ サイクリング教室 一般 30名



松江市小学校体育連盟 (会長 大西 暁)

- 5・25 市営グラウンド
- ㊶ 第30回松江市小学校連合体育大会
小学生 5,000名
- 7・29 朝日小プール
- ㊷ 第12回松江市小学校水泳競技大会
小学生 300名
- 9・19・20 島大サッカー場
- ㊸ 第11回松江市小学校サッカー大会
小学生 300名
- 9・19・20 総合体育館

	第3回松江市小学校バレーボール大会	小学生 250名	合計 800名
11・13	母衣小校庭		
	⊕ 昭和52年度陸上特別教室	小学生 100名	
11・25、26	総合体育館		
	⊕ 第28回松江市小学校バスケット大会	小学生 500名	
	松江スキー協会 (会長 古瀬 章)		
2・4～5	大山		
	松江市民スキー大会	100名	
2・5	大山		
	親子スキー大会	50名	
2・26	大山		
	第11回松江地区スキー競技大会	120名	
	松江市中学校体育連盟 (会長 舟木貞美)		
6・14～15	総合体育館外8会場(9種目)		
	⊕ 第11回松江市中学校総合体育大会 兼第11回県中学校総体松江市予選会	市内10校 3,000名	
6・18	松江陸上競技場		
	⊕ 県中学校総体兼通信陸上予選記録会	350名	
6・28	湖南中学校プール		
	⊕ 第28回松江市中学校水泳競技大会	120名	
7・上旬～下旬	市内中学校体育館		
	⊕ 県総体市代表選手強化合同練習会	600名	
7・26～27	松江工業高校		
	⊕ 第28回県中学校水泳競技大会 兼第17回全国選抜水泳競技県予選	180名	
7・28	松江市総合体育館		
	⊕ 第2回中国中学校卓球選手権大会	80名	
9・19	松江陸上競技場		
	⊕ 第28回松江市中学校陸上競技大会	5,000名	
10・25～26	市総合体育館外6会場		
	⊕ 第21回松江市中学校新人野球大会		
	⊕ 第24回松江市中学校新人バレーボール大会		
	⊕ 第12回松江市中学校新人庭球大会		
	⊕ 第26回松江市中学校新人卓球大会		
	⊕ 第14回松江市中学校新人バスケットボール大会		
	⊕ 第17回松江市中学校新人サッカー大会		
11・9	松江市総合体育館		
	⊕ 第21回出雲地区中学校新人体操大会	150名	
11・19～18	松江市総合体育館		
	⊕ 第22回出雲地区中学校新人バスケットボール大会	470名	
12・下旬～2月上旬	市内各校体育館		
	⊕ 種目別合同強化練習会	700名	
1・19	松江市商工会館外3会場		
	⊕ 第7回県中学校体育・スポーツ研究懇談会		
	松江市相撲連盟 (会長 井戸内正)		
8・7	松江市末次公園特設相撲場		
	⊕ 松江だんだん祭協賛 第12回松江市納涼相撲大会	青年、一般 200名	
8・19	松江市朝酌小学校特設相撲場		
	⊕ 第7回松江市嵩ブロック少年相撲大会	学童 60名	
10・17	高の宮神社特設相撲場		
	⊕ 第2回松江湖北ブロック奉納相撲大会兼少年相撲大会	学童、一般 60名	
	松江市なぎなた連盟 (会長 大野繁子)		
5・22	横浜市文化体育館		
	⊕ 第22回全日本なぎなた選手権大会		
8・2～3	鳥取県営米子武道館		
	⊕ 昭和52年度なぎなた普及講習会		
8・23～26	福岡市文化センター体育館		
	⊕ 昭和52年度西日本なぎなた指導者講習会		
9・4	県立松江武道館		
	⊕ 第10回鳥根県武道振興大会(なぎなたの部)	県選手権大会	
		一般男子、一般女子、高校、中学	70名
11・20	県立松江武道館		
	⊕ 松江市武道大会(なぎなたの部)	中学生、一般	30名
11・23	岡山県立武道館		
	⊕ 第4回中国五県なぎなた選手権大会		
12・4	出雲女子高等学校		
	⊕ 昭和52年度鳥根県なぎなた指導者講習会		
	松江市卓球連盟 (会長 鐘築孝男)		
4・16～17	総合体育館		
	⊕ 第7回鐘築杯争奪卓球大会		
	参加 一般 29チーム		
	中学 48チーム		
	個人 289名		
5・1	総合体育館		
	⊕ ママさん卓球大会		



参加 21チーム

9・4 島根大学

⊕ 第12回 市長杯争奪卓球大会

参加 一般 48チーム

個人 308名

9・15 家庭婦人卓球大会後援

11・5～6 総合体育館

⊕ 第23回松江市卓球選手権大会

参加 一般 39チーム

中学 33チーム

個人 36名

10・2 江津工高

第1回島根県民体育大会卓球競技大会の参加
松江市はA・B 2チーム(24名)出場

Aチーム 5戦全勝……優勝

Bチーム 2勝3敗……第4位

8・7 農林高校

中学校指導会 中央より講師(小園社氏)

8・26 松江一中体育館 中学校指導会

5・12～7・28 (月・木週2回)総合体育館

初心者指導教室

9・5～12・8 (月・木週2回)総合体育館

初心者指導教室

4・6～6・29 松江市卓球リーグ第5期戦

7・6～9・30 " 第6期戦

10・7～12・21 " 第7期戦

松江ヨット協会 (会長 浅野俊雄)

5・1 浜佐陀

⊕ 第1回山陰オープンヨットレース 48名

6・11. 12 境港市

⊕ 中国インターハイ

役員派遣 3名

7・3 浜佐陀

⊕ 国体県予選 490級 20名

7・10 浜佐陀

⊕ 国体県予選 スナイプ級 26名

7・23. 24 多古港

⊕ 社会人合宿 20名

7・21～31 境港市

⊕ 山陰強化合宿 6名
トップレーサー甲斐選手他による強化指導
合宿

7・30. 31～8・1 浜佐陀

⊕ 第3回少年少女ヨット教室 15名

8・6. 7 宍道湖大橋附近

⊕ 第二回ヤングマンヨット教室 60名
ヨット試乗会

8・27. 28 浜佐陀

⊕ 宍道湖レース 75名

9・4～7 青森市浅虫ヨットハーバー

⊕ 青森国体 5名
梅木、高尾組 470級で5位入賞

9・10. 11 浜佐陀

⊕ 中国 470級、スナイプ級選手権大会
兼全日本選手権予選 90名
470級 1.2.4位 スナップ級 1位 上位独占

9・19～25 浜松市浜名湖

⊕ 470級世界選手権 役員派遣 1名

10・6～10 愛知県溝部ヨットハーバー

⊕ スナップ級全日本選手権 2名

10・8. 9 浜佐陀

⊕ 全山陰選手権 65名

11・30～12・4 兵庫県西宮ヨットハーバー

⊕ 470級全日本選手権

松江地区剣道連盟

(会長 浅野俊雄)



6・5 松江地区青少年剣道大会 70チーム850名

6・5 段級審査会(一般、高校) 80名

7・26～31 暑中稽古 延 140名

8・28 橋北地区級審査会 200名

8・28 橋南 " 150名

10・10 体育祭へ参加 150名

10・23 居会道講習会(伝達) 150名

11・13 松江市剣道大会 50チーム 100名

12・18 52年稽古納め会 700名

53・1・9～14 寒稽古会

1～14 段級審査会(一般高校)

3～5 橋北地区級審査会

3～12 橋南地区 "

松江山岳協会

(会長 柿田芳夫)



頂上附近を清掃して帰途につく

- 5・8 八東郡東出雲町 京羅木山
 ㊦ 春の市民ハイキング 一般 39名
- 7・9～10 仁多郡 吾妻山
 ㊦ 登山指導員研修会 協会指導員 8名
- 11・6 簸川郡斐川町直江 仏経山
 ㊦ 秋の市民ハイキング 一般 28名

あすなろの像・除幕式
市民総体育の象徴に



「明日はヒノキになろう」としてがんばるアスナロの木にちなんで「あすなろの像」が12月26日総合体育館前に建てられた。松江の彫刻家荒木文夫氏が日展入選作の原型を寄附してできたもの。除幕式には斎藤前市長も姿をみせスイミングクラブの子供たちも参加、たくましい像を仰いでいた。

52年の青森団体があすなろ国体の別名で開催されたので一躍有名になったのはご存知のとおりです。

松江市スポーツ少年団

(本部長 岡 磯吉)

- 52・12・20現在 登録団数 28団
 団員数 926名 指導者数 83名
- 1・16 島根県スポーツ少年団剣道交歓会
 総参加数87チーム(市関係36チーム 108名)
 場所 県立武道館
- 3・13 島根県スポーツ少年団サッカー交
 歓会 参加数 8チーム 122名(市関係)

- 場所 附属小、附属中
- 4・3 松江市スポーツ少年団親子交歓会
 参加数 親子合わせて約 200名
 場所 総合体育館 交歓内容、卓球、ドッチボール、水泳(温水プール)ミニサッカー、騎馬戦
- 7・23～7・25 第8回中国ブロックスポーツ少年団リーダー大会、参加数 4名
 場所 山口市 維新百年記念公園
- 7・23～7・24 広島県府中市スポーツ少年団乃木・朝日スポーツ少年団交歓野球大会 参加数 親子約 100名 乃木小グラウンド
- 8・1～8・5 第15回全国スポーツ少年大会兼スポーツ少年団創立15周年記念交歓スポーツ祭
 場所 東京都オリンピック記念青少年総合センター 参加数 7名
- 8・6～8・7 第3回能義郡布部スポーツ少年団・城東スポーツ少年団交歓大会
 1泊2日布部にて交歓す 指導者 4名 団員32名
- 8・6～8・7 第14回姉妹都市宝塚市・松江市スポーツ少年団スポーツ交歓会
 1泊2日にて宝塚市立少年自然の家で交歓、指導者11名 団員数53名

市民体育祭開会式で競技場建設功労者として感謝状を受けられた 故松江市長高橋節雄氏の嫡男元雄氏(在千葉県柏市)から返礼のたよりがありました。

 御礼の言葉
 * 前略、松江市民体育祭の記念すべき日に当
 * り、松江市長職務代理者佐藤助役殿より父故
 * 高橋節雄に対しまして感謝状を戴き、まこと
 * に有難う御座いました。皆様の御心尽しに対
 * し厚く御礼申し上げます。早速墓前に報告さ
 * せて戴きました。昭和4年竣工以来実に50
 * 年の永きに亘る歴史を閉ずることに成ったと
 * 聞及び、まことに愛惜の念に耐えません。私
 * こと昭和5年夏、松江高等学校1年生の折、
 * 対大阪高等学校陸上競技戦にて5千米競走に
 * 出場し、あの競技場を走らせて戴いた楽しい
 * 想出があります。松高陸上競技部はその年の
 * インター・ハイに優勝致しました。これも皆
 * 当競技場で錬えさせて戴いた御蔭と思ってお
 * ります。
 * 終りに臨み松江市民体育祭の御発展を御祈
 * り申し上げます。
 * 父に代りまして一言御礼を申し述べさせて
 * 戴きます。(後略)
 * 故高橋節雄三男
 * 松江市長代理 高橋元雄
 * 佐藤俊男助役 殿
 * *****

トピックス



松江体協では市教委と一体になり地域に根を下ろしたクラブ育成、スポーツ教室の開催や市民総体育を目標にスポーツ人口の増大にとり組んでいる。その一環として地域体協組織づくりによる全市地域体協連合会を4月に結成した。現在20公民館地区で体協組織が出来上っているのが12地区、公民館体育部の形で加入したのが7地区で、松南を除く19地区の加入を見ている。加入団体には図のメダルやバッジ等配付した。(会長 角吉郎)

体力づくり、個人、集団技能の習得、社会性の育成をめざしている、ミニ・バスケットボール教室が日頃の成果を発揮する場として3月28日～30日松江市に於て第8回の全国交歓会が男女96チームの参加で開催され、大人顔負けのプレー続出のチビっ子の大会だった。そして、8月には、高松宮殿下御夫妻の御臨席をいただき、全国から128チームの参加により全国高校バスケット大会が開かれ、若い選手諸君により熱戦が展開された。



松江体協常務理事故山内育二氏(天神町呉服問屋主人、ペンネーム以九士)は松中、慶応大野球部マネージャーだったことから、在松時代現野球規則の原本や山内式スコアブック、打率早見表を発刊、プロ入りしてはパシフィック記録部長として記録の神様と云われてきたが47年野球一筋の生涯を閉じた、そして愛弟子の手により山内さんの念願でもあったプロ野球のあらゆる記録を集大成した記録大鑑が52年6月発刊され和田氏に贈られ、いまは県図書館に寄託されている。

スポーツ思想の普及は家庭婦人や老壮年層にも次第に滲透しつつあり就中、家庭婦人バレーボールの隆昌ぶりは目覚ましいものがある。

全国家庭婦人バレーボール大会は、市・県予選を経て県代表1チームが全国の檜舞台に登場するものであるが、松江市は第1回以来、白潟、大庭、城東、津田、52年は乃木と連続栄誉をにないベスト8に進出している。その戦績は予選①乃木2-1栃木、同②乃木2-1和歌山、準々決勝 新潟2-0乃木 (写真は開会式)





◆ 秩父宮妃殿下には日赤創立100周年記念島根県大会にご臨席されたのを機会に、日本陸上競技連盟から秩父宮章を授与されている県内10氏のうち7氏が10月21日県民会館で妃殿下にお目にかかり、島根の陸上について夫々言上、ご下問にお答えした。妃殿下はつねに日本陸上競技界の振興を心にかけてられているが、津田、吉岡等の世界的選手を産んだ松江が中心となって島根国体にも頑張っしてほしいなどのお言葉を残された。



◆ 地域におけるスポーツ活動を実施しているグループやクラブを対象に基礎的なスポーツ技術の指導や一般的な身体活動の指導を行い、かつ活動組織の育成、指導にあたる指導者を養成する目的で毎年日本体協と島根県体協で養成講習を行ってきたが、松江体協ではこの公認スポーツ指導者制度を生かし指導者養成につとめた結果、52年の講習修了者10名を含め合計28名を現有するに至った。今後年々養成し指導者をふやしていきたい。


- ◆ NHK木曜ファミリーの番組に、さようなら松江陸上競技場が取り上げられ10月20日放映された。このため東京から帰郷した吉岡隆徳氏は、ロスアンゼルス・オリンピック100米6着、次いで世界記録10秒8を樹立した当時はいて今は破れているが愛着惜しめないスパイクで松江陸上競技場の走り納めを往年に変らぬ力強いフォームで披露、記録は15秒4、年齢68才で巒嶽たるものがあった。当日グランドで、曾田、吉岡氏、金山、和田



- ◆ 市民の体力づくりに利用してもらおうと白鷺公園と市役所前宍道湖護岸堤防にジョギングコースが設定された。このコースは、白鷺公園(往復600m)護岸堤防(往復約2km)のコースで、50m毎に距離が標示され、体力に応じてランニングや散歩に利用し、健康、体力の維持増進に役立て、これを日常生活の中に定着させようとのねらいである。

公認スポーツ指導者
登録証

License
Authorized sports leader



財団法人日本体育協会
Japan Amateur Sports Association



パ
ッ
チ

昭和52年度松江体育協会収支予算書

収 入 の 部

費 目	52年度予算額	51年度予算額	比較増△減	説 明
1. 繰越金	346,654 円	350,000 円	△ 3,346 円	前年度繰越金 346,654 円
2. 補助金	5,245,000	5,157,000	88,000	{ 市補助金事業費 3,171,000 円 同 人件費 2,074,000 円
3. 会費	1,465,000	1,055,000	410,000	{ 5 刊× 38 団体 = 190,000 円 特別会員 3 刊× 425 人 = 1,275,000 円
4. 雑収入	15,000	15,000	-	預金利息その他 15,000 円
合 計	7,071,654	6,577,000	494,654	

支 出 の 部

費 目	52年度予算額	51年度予算額	比較増△減	説 明
1. 加盟団体事業補助費	2,895,000 円	2,800,000 円	95,000 円	加盟団体39部門事業補助費 289 万 5 千円 (内訳 刊単位) 145.陸上・卓球、140.水泳、130.サッカー・スポ少、120.剣道、110.野球、105.バレー、100.相撲・地域体連合、95.バスケット・オリエンテーリング、90.軟庭・柔道・ヨット・弓道、85.サイクリング、70.ローンテニス、ソフト、アーチェリー、65.スキー、60.射撃、中体連、職域、50.体操、小体連、40.ハンドボール・教職・バドミントン、ライフル・ボウリング、35.山岳、自転車・銃剣道、なぎなた、ボクシング・馬術・その他 2 種目
2. 普及強化費	567,000	300,000	267,000	普及強化費 56 万 7 千円
3. 賃金	1,920,000	1,920,000	-	賃金(職員 2 人本俸・手当) 1,919,520 円
4. 保険料	154,000	147,000	7,000	健康保険料 153,561 円
5. 厚生費	20,000	50,000	△ 30,000	職員厚生費 2 千円
6. 育成費	585,000	390,000	195,000	加盟団体育成費 58 万 5 千円 (特別会員 1 人当り 1.5 刊×390 人分)
7. 事務費	877,000	886,000	△ 9,000	表彰費 350 刊 旅費 50 刊 会議費 130 刊 印刷費 110 刊 備品費 20 刊 図書費 30 刊 通信費 80 刊 消耗品費 15 刊 雑費 80 刊 県体協加盟金 12 刊
8. 予備費	53,654	84,000	△ 30,346	予備費 53,654 円
合 計	7,071,654	6,577,000	494,654	

松江体育協会昭和51年度会計決算書

収 入 の 部

費 目	51年度予算額	51年度決算額	比較増△減	説 明
1. 繰越金	350,000 円	343,677 円	△ 6,324 円	前年度繰越金 343,677 円
2. 補助金	5,157,000	5,134,608	△ 22,392	{ 市補助金事業費 3,090,000 円 同 人件費 2,044,608 円
3. 会費	1,055,000	1,130,000	75,000	{ 5 冊×37 団体=185,000 円 特別会員 3 冊×315 名=945,000 円
4. 雑収入	15,000	39,058	24,058	預金利子その他 39,058 円
合 計	6,577,000	6,647,343	70,343	

支 出 の 部

費 目	51年度予算額	51年度決算額	比較増△減	説 明
1. 加盟団体事業補助費	2,800,000 円	2,770,000 円	△ 30,000 円	加盟団体37部門事業補助費 2,770,000 円
2. 普及強化費	300,000	249,822	△ 50,178	普及強化費 249,822 円
3. 賃金	1,920,000	1,918,144	△ 1,856	賃金(職員 2 人本俸・手当) 1,918,144 円
4. 保険料	147,000	116,266	△ 30,734	健康保険料 116,266 円
5. 厚生費	50,000	14,900	△ 35,100	職員厚生費 14,900 円
6. 育成費	390,000	417,000	27,000	加盟団体育成費 417,000 円 (特別会員 1 人当り 1.5 冊×278 人分)
7. 事務費	886,000	814,557	△ 71,443	表彰費 331,740 円 旅費 47,780 円 会議費 130,615 円 印刷費 112,000 円 備品費 ー 図書費 30,670 円 通信費 60,112 円 消耗品費 14,660 円 雑費 74,980 円 県体協加盟金 12,000 円
8. 予備費	84,000	ー	△ 84,000	
合 計	6,577,000	6,300,689	△ 276,311	

次年度へ繰越金

346,654 円

加盟団体事業補助費 2,770,000 円の配分内訳次のとおり(単位 千円)

145 (1種目)	卓 球
140 (1種目)	水 泳
130 (3種目)	サッカー、スポーツ少年団、陸上
120 (1種目)	剣 道
110 (1種目)	野 球
105 (1種目)	バレーボール
100 (1種目)	相 撲
95 (2種目)	バスケット・オリエンテーリング
90 (4種目)	軟庭・柔道・弓道・ヨット
85 (1種目)	サイクリング
70 (3種目)	ローンテニス・ソフト・アーチェリー
65 (1種目)	ス キ ー
60 (4種目)	射撃・中体連・地域体・職場連
50 (2種目)	体操・小体連
40 (5種目)	ハンドボール・教職員・バドミントン・ライフル・ボクシング
35 (6種目)	山岳・自転車・銃剣道・なぎなた・ボウリング・馬術

合 計 2,770,000 (37種目)

昭和52・53年度松江体育協会役員（任期2ケ年）

(53.1.10現在)

役 職 名	氏 名									
会 長	斎藤 強									
副 会 長	佐藤 俊男 谷田 聰 藤井 忠孝 松尾 巖 岡 磯吉 和田 正則									
顧 問	恒松 制治 水津 卓夫 吉田 雄三 小立 幸雄 田部長右衛門 又賀 清一									
	岡田 善富 佐藤 不二男 秋本 盛一 橋本謙次郎 与倉 潔美 石飛 三郎									
	伊原 周造 金山 千 古満友次郎 小玉 耕平 佐野 広 島田 善光									
	柴田 午郎 高井義三郎 仲佐 菊夫 大西 暁 西島 正道 細田 吉蔵									
	森本 正紀 吉岡 年春 渡部 熊夫 馬場 純一 門脇憲次郎									
参 与	關山 危蔵 浅野 俊雄 岩田 篤明 浦川 侃 遠藤 貞雄 太田 秀夫									
	大野 繁子 鐘築 孝男 金山 千 福田 清美 井戸内 正 岸 広海									
	柿田 芳夫 島田 和明 佐野 広 須田豊三郎 鈴木 繁徳 大西 暁									
	玉木 常吉 舟木 貞美 古瀬 章 福島益太郎 松田 俊雄 米田 昌平									
	古川重三郎 柳原 弘義 森江 文吉 吉岡 正吉 吉野 晴雄 和田 邦市									
渡部 熊夫 野津 嘉重 角 吉郎 桑原 和義										
理 事 長	桂 隆義									
常 務 理 事	織奥 信男 森 秋重 岸 広海 和田 忠義 須山 春雄 原 秀夫									
	福島益太郎 石井 美己 吉野 晴雄 松浦 嘉昭 梶谷 節夫 岸 明弘									
	小玉 耕平 吉岡 弘 高尾 邦雄									
理 事	石原 幸雄 田中 信義 中島 武茂 須田 正夫 狩野 信 金築 一郎									
	幸野 孝治 野津住都美 宮廻 利徳 井上 正 和久利 勇 渡部 咲子									
	角田 誠 勝部 嘉己 玉木 常吉 關山 哲也 榎戸 航 山本 謙									
	和田 邦市 尾原 徳光 岩崎 英人 藤原 善夫 早栗 清 岸 一郎									
監 事	吉野 安久 松尾 司									
事 務 局 長	荒木 卓									

種 目 別 役 員

役 職 名	氏 名									
陸 上 競 技	須山 春雄 青戸 純夫 足立 淑世 伊藤 操 大塚 昭治 梶谷 和正									
	勝部 行正 金坂 嘉則 熊谷 琢朗 久保田康毅 小西 益之 佐原 亘									
	福平 博行 千原 正男 内藤 喜一 長野 征三 福田 正義 松本 正									
卓 球	山田 潔 吉野 安久									
	岸 明弘 藤原 武治 玉木 敏夫 和田 恭明 坂田 年 久保川喬之									
水 泳	出川 忠教 藤原 和夫 矢田登志豊 奥田 宮城 川井 富夫									
	梶谷 永原 和夫 長岡 重義 野島 格己 規家 文雄 門脇 節朗 佐藤 幸一									
サ ッ カ ー	松浦 嘉昭 久保田 稔 田中 忠厚 宍道 泰玄 大和 正 永海 誠									
	大内 紀雄 米田 孟弘 忌部 幹夫 森祐 善男 安部 隆									
剣 道	田中 信義 岡田 安夫 入沢 和一 倉石 惟男 岡村 稔 加藤 富章									
	安部 修次 青戸 常磐 高橋 幸男 村上 茂 井後 豊 種村 敏雄									
軟 式 野 球	尾原 徳光 野津 正連 内田 浩二 泰 勝郎 上野 克次 渡部 幸利									
	野津 三郎 樋口 速									
相 撲	野津住都美 木村 勇 成相 重夫 平塚 繁義 若林 泰男 藤原 正									
	古藤 正三 小山 栄 金津 光寛									

役職名	氏名								
バレーボール	吉野 晴雄 野津 和子	諏訪部 芳美 金崎 利治	福井 勝美	種平 博行	松本 末吉	恩田 留子			
バスケットボール	岩崎 英人 石原 辰三	葛尾 信弘 木次三八郎	石倉 達夫 沢田 毅	坂本 和正 高木 俊行	米原 範倍	吉迫 哲哉			
ソフトボール	井上 正 今林 美昭	祖田 彰 門脇 正彦	矢野 時夫 内田 盛信	作野 茂	細田 朝通	今林 治			
オリエンテーリング	玉木 常吉 狩野 信	桜内 保幹 土井 幹夫	余村 信義	黒崎 行雄	新宮 忠次	井上 直子			
軟式庭球	中島 武茂	多久和智康	松村 光洋	王造 浩	山本 隆祥	松浦 定男			
柔道	高尾 邦雄 長谷川正短	福井 勇 福田 厚	松本 昭 門脇 常雄	田中 義祐 藤岡 正春	岩見 裕至	細田 覚郎			
弓道	和久利 勇 田中 勇	松田 俊雄 大野 美雄	熊野 文三 小村 達郎	石倉 茂徳 中原 祥照	米本 兆民 木次 節郎	渡利 洋一 金織 博			
ヨット	幸野 幸治 竹田 富	菊地 良兵 金平 憲	木村 光雄 一氏 俊夫	長谷川 宏 足立 将	高木 弘宣 山本 寿子	山本 英二			
サイクリング	狩野 信 来海 昭夫	伊藤 薫 岡本 寛和	大久保春弥 入井 寅雄	岸本 武男 踏江 資礼	福井 邦憲	長谷川伊平			
ローンテニス	鎌田長一郎	山根 健	岡本 克己	糸原 次之	真柄 裕				
アーチェリー	宮廻 利徳 松本 安代	山本 正博	人藏 弘	後山 尚一	三木 基弘	神村 利幸			
スキー	山本 謙 日野 和雄 花内 潔	仲田 義夫 佐藤 信男 多々納昭夫	渡部 紀美 別府 裕文 有田 唯心	山代 修 領家 康明	入江 勝仁 諏訪 一紀	矢野 秀治 松浦 常夫			
中学校体育連盟	石井 美己 川西 純次	舟木 貞美	林 惺志	勝部 行正	坂本 潔	平江 一郎			
体操連盟	園山 哲也 岡坂 晴朗	柳原 弘義 園山 哲也	松本 敏雄 橋本 泰三	妹屋アサ子 門脇 英雄	永井 康隆 中村 保夫	渡部 悦男 今岡 一真			
小学校体育連盟	勝部 嘉己 星野 淳	高橋 邦好 安部 輝彦	小林 毅	門脇 節朗	忌部 幹夫	高木 俊行			
ハンドボール	角田 誠 松蔭 実	糸川 薫	渡部 新治	石倉 秀人	村上 光弘	長森 利明			
バドミントン	石原 幸雄	大北 哲也	松尾 益吉	小林 茂	高麗 久義	野津 良文			
ライフル	金築 一郎 三代 要	松林 利光 井原 福雄	岩山 励	門脇 博光	田原 勉	石河 重馬			
山岳	横戸 航	藤田 真一	岡本 文雄	小村 修治	福村 年晃	森脇 基之			
自転車競技	須田 正夫 岸本 武男	長尾 憲通	佐藤 修一	渡辺 俊美	伊藤 薫	森峯 広			
銃剣道	和田 邦市	深津 美晴	堀 秀蔵	村松 功	永瀬 保	井後 豊			
なぎなた	渡部 咲子	大野 繁子	後藤登美子	恒松 幹子	平江 浩子	藤井 隆義			
ボウリング	藤原 善夫 土江 博行	米田 昌平 足立 福芳	宮本 一光 大沢 亮三	野津 良孝 夏目 博和	長瀬 英夫 米田 豊	加藤 順一 山口 一春			
乗馬	早栗 清	三谷 彰	加藤 正信	神庭 正信	石塚 皓敏	永瀬 一郎			
教職員体育連盟	持田 宗市 深田 悦子 長田恵美子	野上 好弘 末次 一夫	持田 みゆき 坂本 潔	勝部 行正 石井 美己	勝部 嘉己 高橋 邦好	玉谷 辰朗 伊藤豊美子			

昭和52年度松江体育協会特別会員

(52.12現在)

取扱い団体	口数	特 別 会 員 氏 名											
市 議 会 議 員	3 6	井戸内 正	吉岡 正吉	梶谷 富彦	門脇 光男	富永 利典	田中 正三	小山 昭	原 豊	高木 早苗	広江 敏郎	角 吉郎	狩野 文男
		伊藤 喜造	片寄 治夫	野津 嘉重	藤山 徳行	加藤 暁	岩成 潔	岩田 篤明	森江 文吉	村松益次郎	小山 永久	岸 広海	松浦 巖
		与倉 正三	須田豊三郎	野波 好吉	前田 恭吉	小立 幸雄	古藤 正福	佐々木種蔵	福島益太郎	竹谷 六郎	佐川 喜摩	黒田成一郎	船来 豊
		佐野 広	秋本 盛一	金山 千	与倉 潔美	船江友太郎	曾田 堯	和田 忠義	桂 隆義	兼折 博	森広大三郎	佐藤 勝亮	吉野 安久
		福田 正義	本田 一忠	平垣 貞徳	伊藤 操	塩川屋 三郎	小山 昭	竹田 操夫	荒木八洲雄	松浦 善次	吉岡 正吉		
卓 球	2 7	舘築 孝男③	大野 俊夫②	星野 広②	織奥 信男	大沢 亮三	梶 仁敏	門脇 綱功	加藤 正也	三島 堅	好川 豊	船来 豊	佐川 喜慶
		竹谷 六郎	マルキスポーツ	松江地方貯金局卓球部	マルトミ③	サンヨー③			スポーツショップワダ②				
水 泳	2 2	伊原 周造⑤	妹尾 永司②	さらしな	三島電機	二協社②	海賀 勲	藤原 弘之	野口 雅庸	後藤 勇②	秋本 俊輔	田中 直邦	杉本 孝雄
		三尾 英治	瀬江苑	梶谷 節夫									
サ ッ カ ー	2 0	金織 民憲	大内 紀雄	曾田 義治	福重 信保	小川 将	森脇 善男	大和 正	忌部 幹夫	八束 義夫	安部 隆	和田 忠義	松浦 嘉昭
		小玉 耕平	久保田 稔	山崎 滋	大石 益男	菊地 晃男	横山 康二		間田 浩彬	松川 一雄			
スポーツ少年団	2 0	浦川 侃③	松尾 衛尚②	藤原 善夫	村上 義郎	宅和 定雄②	塩田 恭一	林 直衛	堀江 邦男	入沢 和一	中林 正	森脇 厚志	土井 幹夫
		内久保武志	山名 哲夫	綾部 隆文	高階 等								
剣 道	1 8	田中 信義	岡田 安夫	倉石 惟男	村上 茂	大国 章夫	入沢 和市	青戸 常磐	門脇 利尹	種村 敏雄	山根 利敏	加藤 富章	高橋 幸男
		井後 豊	岡村 稔	土佐 健二	浅野 俊雄	大西 友次	福島益太郎						
野 球	1 7	福島益太郎①	尾原 徳光②	野津 正連②	泰 勝部	内田 浩二	上野 克次	山本 俊治	樋口 速	渡部 幸利	萬波 伸男	岸 正紀	陰山 幸悦
		宅和 定雄											
バレーボール	1 6	山陰合同銀行② 松江市役所② 食糧事務所② 松江土建② 松江貯金局② 中国電気工 事② 島根船用品② 王水堂薬局 湖南農協											
相 撲	1 5	門脇憲次郎	井戸内 正	月坂 義明	吉岡 弘	木村 勇	成相 重夫	平塚 繁義	若林 泰男	藤原 正	武藤 貞二	古藤 正三	小山 栄
		田村 一朗	石橋 武雄	金津 光宣									
バスケット	1 5	小村 敬一	伊藤 孝一	吉岡 正夫	平本 龍平	小西 春雄	日野 勝也						
オリエンテーリング	1 5	玉木 常吉⑤											
軟 庭	1 4	鈴木 繁徳③	森脇文一郎③	中島 武茂②	植木 章②	細木 博②	松浦定男②	野津 治年	平塚 繁義	山口 栄一	井戸内 孝	曾田 三郎	山下 義明
柔 道	1 4	立脇 春男	森広大三郎	安島 由雄	小村 利行	島田 達	福部常次郎	野津 利一	池田 幹				
弓 道	1 4	松田 俊雄	熊野 文三	石倉 茂徳	和久利 勇	渡利 洋一	金森 栄	清谷 稔	松田 行正	木次 節郎	金織 博	石橋 一夫	児玉 克正
		中原 祥熙	小村 達郎										

取扱い団体	口数	特 別 会 員 氏 名							
ヨ ッ ト	16	高木 弘宣	菅江 立恵	永瀬 泰子	山本厚太郎	松本 強	長谷川由紀子		
		梅木 松子	木村 敏子	吉永 邦	浅野 俊雄	西川 正博	森本 紀彦		
		山本美奈子	松田 行正	大森 秀夫	牛見 修三				
サイクリング	13	松江サイクリング協会⑩							
ローンテニス	11	島田 和明	中島 隆司	吉岡 年春	岩崎 孟雄	糸原 次之	庄司 肇		
		田部 安德	鎌田長一郎	鬼頭 宏一	三島 善吉	松本 淳			
スキ ー	10	古瀬 章	泉 彬	山本 謙	三島 行雄	荒木 英昭	石川 博		
		仲田 義夫	渡部 紀美	山本 修	入江 勝仁				
射 撃	9	桑原 和義	江角 高	裏辻 雅啓	池上 成則	岡本 稔	大前 福德		
		小林 文雄	安達 正幸	佐藤 末寿					
地 域 体	15	原 久夫	黒沢 和夫	三島 敏暢	大塚 昭治	野津佐千穂	神田 繁吉		
		原 秀夫	山田 博義	内藤 喜一	昌子 福一				
ハンドボール	6	角田 誠	福島 栄一	森江 文吉	江沢 紀彦	永見 善次	野津 一郎		
教 職 員	6	大西 暁	島村 玉恵	福田 清美	荒木 卓	佐藤不二男	小豆沢岩雄		
銃 剣 道	6	和田 邦市	平塚 繁義	堀 秀蔵	井後 豊	和田 清一	深津 美晴		
馬 術	6	松江馬術連盟⑥							
少 林 寺	6	近木 英哉	岸 一郎	中村 俊雄	永野 昭雄	今田 義雄	己之口 武		
小 体 連	6	大西 暁	佐原 通司	星野 年明	山崎 忠志	永井 康隆			
自 転 車	6	島根県自転車軽自動車商協同組合松江支部⑥							
な ぎ な た	6	大野 繁子	渡部 咲子	後藤登美子	恒松 幹子	平江 浩子	藤井 隆義		
山 岳	6	柿田 芳夫	岡村 一郎	横戸 航	藤田 真一	内田 博文	村田 行彦		
		柳原 弘義	松本 敏雄	妹尾アサ子	渡辺 悦男	園山 哲也	岡坂 晴郎		
体 操	8	永井 康隆	成相 磯男						

編 集 後 記

恒例の成人の日の体協新年賀会に会報を発刊配布し会務報告に代えることにして今年が7号目になる。

今年はいよいよ57年島根県国体開催が中央機関によって内定されるので受入関係業務も一段と忙しさを増すことになろう。

わけても主会場をもつ松江市の国体への取組み

方は他方への影響も頗る大きいと云われているだけに、われわれ体協としても責任の一端を担わねばならない。

体協の財産で最も大きいものは、指導者の大集団を保有することである。えい智を結集し、アイデアに富んだ施策をあみ出し、これを着々実行していくことである。

本号には松江陸上競技場(昭和運動場)“さようなら”を記念し関係記事を載せた次第である。

(事務局 和田)

賀 正

松江体育協会

会 長	斎 藤 強	(西川津町2484)21-4506
副 会 長	佐 藤 俊 男	(市役所(助役)24-1111)
同	岡 磯 吉	(市教育委員会(教育長)24-1111)
同	曾 田 堯	(市民交通災害共済(局長)21-4186)
同	藤 井 忠 孝	(松江土建㈱(社長)21-3521)
同	松 尾 巖	(生馬公民館(館長)36-8460)
同	和 田 正 則	(体協事務局専従 24-7227)
理 事 長	桂 隆 義	(島根信販㈱(常務)21-2140)
事 務 局 長	荒 木 卓	(市教委体育課(課長)24-1111)
事 務 局	松江市末次町86	松江市教育委員会体育課内24-1111(332/321) 24-7227(直通)